

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 クニミネ工業株式会社
 コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長 (氏名) 川島 利昭

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,253	2.9	436	17.4	521	13.0	309	10.5
25年3月期第2四半期	5,104	4.8	371	△5.8	461	△0.9	280	△6.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 466百万円 (71.1%) 25年3月期第2四半期 272百万円 (△14.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	25.30	—
25年3月期第2四半期	22.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,232	11,478	79.7
25年3月期	14,686	11,318	76.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,339百万円 25年3月期 11,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 創立70周年記念配当 10円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,463	△1.9	1,198	△14.0	1,335	△20.1	758	△29.5	61.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,450,000 株	25年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,209,958 株	25年3月期	2,208,398 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	12,240,613 株	25年3月期2Q	12,243,482 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料1ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目次

1. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 1
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 1
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 1
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 1
3. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 2
4. 四半期連結財務諸表等	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 7

1. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は当初見込みを上回り堅調に推移いたしましたが、円高修正に伴う原材料の輸入価格や燃料費等の上昇が、特に主力のベントナイト事業部門において利益を圧迫してきている等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成25年5月17日）の業績予想の変更はありません。

3. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀の積極的な金融緩和に伴う円安・株高を背景に消費や企業心理が改善、雇用・所得環境に持ち直しの動きが見られる他、輸出の持ち直しや、緊急経済対策の効果、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等もあり、緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、国内生産台数が自動車においてエコカー補助金の終了等に伴う減少が続いているものの、土木建築業界においては、金利上昇見込や消費税率改正を背景に新設住宅着工戸数が増加する等、全体としては堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、電力料金の値上げや円安基調に伴う原材料価格の上昇に対して原価の上昇を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門において円安による原材料費の上昇や電力料金値上げ等に伴う製造原価の上昇が避けられなかったものの、採算性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門の好調により、売上高は52億53百万円（前年同期比 2.9%増）、営業利益は4億36百万円（同17.4%増）となりました。経常利益は、前期にあった負ののれんの償却額27百万円がなくなったものの、前期の為替差損11百万円が当期は為替差益8百万円に転じたこと等により、5億21百万円（同13.0%増）となり、四半期純利益は、前期にあった保険解約返戻金21百万円および減損損失28百万円がなくなったこと等により、3億9百万円（同10.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、国内生産台数が、主納入先である自動車業界においてエコカー補助金終了による落ち込みの他、円高修正の中主力車種の海外への生産移管が進む等により減少しているものの、商用車や建機等は復興関連や公共工事等の国内向けが好調で、横這いで推移しました。土木建築関係は、東北や北海道において地熱向けが動き出した他、前期に引き続き廃棄物処分場向け案件を獲得、新設住宅着工戸数増加によりマンション工事等一般民間工事需要が公共工事向けとともに堅調であり、増収となりました。ペット関係は、猫砂市場が全体的に低調であり減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は37億69百万円（前年同期比 1.1%増）、セグメント利益は4億17百万円（同13.0%減）となりました。

② アグリ事業

除草剤や殺虫剤等の農薬および飼料添加物の受託加工の受注が全体的に好調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8億2百万円（同 8.3%増）、セグメント利益は75百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが吸着用輸出向け・化粧品向け等で大幅に増収、止水材においても建築市場での消費税率引き上げ前の駆け込み需要や復興需要等があり増収となり、環境保全処理剤の減収を補い全体として増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6億81百万円（同 7.4%増）、セグメント利益は1億20百万円（同33.2%増）となりました。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,077,008	2,781,469
受取手形及び売掛金	3,871,846	3,179,725
有価証券	—	193,504
商品及び製品	290,266	317,458
仕掛品	227,509	297,139
原材料及び貯蔵品	1,135,611	1,104,835
その他	280,957	176,163
貸倒引当金	△1,585	△1,574
流動資産合計	8,881,614	8,048,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,405,861	1,398,939
機械装置及び運搬具（純額）	857,213	1,025,690
土地	1,778,254	1,778,254
リース資産（純額）	85,229	78,758
その他（純額）	156,300	230,996
有形固定資産合計	4,282,859	4,512,640
無形固定資産	141,910	123,760
投資その他の資産	1,379,701	1,547,717
固定資産合計	5,804,472	6,184,117
資産合計	14,686,086	14,232,841
負債の部		
流動負債		
支払手形	54,618	—
買掛金	736,043	589,866
短期借入金	182,000	164,200
未払法人税等	482,077	150,751
賞与引当金	159,748	135,114
その他	631,651	618,444
流動負債合計	2,246,139	1,658,378
固定負債		
長期借入金	99,300	26,100
退職給付引当金	13,650	12,272
閉山費用引当金	479,395	481,968
環境対策引当金	2,225	2,225
資産除去債務	23,494	23,494
その他	503,401	550,396
固定負債合計	1,121,467	1,096,458
負債合計	3,367,607	2,754,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,223,224	2,223,224
利益剰余金	7,678,481	7,682,129
自己株式	△525,606	△526,487
株主資本合計	10,993,898	10,996,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252,694	341,052
繰延ヘッジ損益	12,050	14,774
為替換算調整勘定	△53,128	△13,187
その他の包括利益累計額合計	211,616	342,639
少数株主持分	112,964	138,698
純資産合計	11,318,479	11,478,004
負債純資産合計	14,686,086	14,232,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,104,871	5,253,604
売上原価	3,500,208	3,579,600
売上総利益	1,604,662	1,674,004
販売費及び一般管理費	1,232,871	1,237,443
営業利益	371,791	436,560
営業外収益		
受取利息	411	804
受取配当金	65,751	63,107
負ののれん償却額 為替差益	27,563	—
貸倒引当金戻入額	—	8,549
その他	2,238	11
営業外収益合計	13,605	18,676
	109,571	91,150
営業外費用		
支払利息	4,491	2,492
為替差損	11,207	—
コミットメントフィー	1,479	1,479
その他	2,776	2,362
営業外費用合計	19,954	6,334
経常利益	461,408	521,375
特別利益		
固定資産売却益	1,292	8,038
保険解約返戻金	21,579	—
特別利益合計	22,872	8,038
特別損失		
固定資産除却損	10,278	8,363
減損損失	28,254	—
投資有価証券評価損	1,133	—
特別損失合計	39,666	8,363
税金等調整前四半期純利益	444,614	521,050
法人税、住民税及び事業税	142,220	158,905
法人税等調整額	11,787	42,698
法人税等合計	154,007	201,604
少数株主損益調整前四半期純利益	290,607	319,446
少数株主利益	10,435	9,758
四半期純利益	280,171	309,688

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290,607	319,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,064	88,358
繰延ヘッジ損益	—	2,724
為替換算調整勘定	5,149	55,916
その他の包括利益合計	△17,914	146,999
四半期包括利益	272,692	466,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,785	440,710
少数株主に係る四半期包括利益	11,907	25,734

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第2四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第2四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	252,657千円	247,145千円
負ののれんの償却額	27,563千円	－千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,729,127	741,122	634,621	5,104,871	－	5,104,871
セグメント間の内部売上 高又は振替高	31,688	－	779	32,467	(△ 32,467)	－
計	3,760,816	741,122	635,400	5,137,339	(△ 32,467)	5,104,871
セグメント利益	479,683	△ 21,550	90,672	548,805	(△177,014)	371,791

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 177,014千円には、セグメント間取引消去 2,642千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 218,470千円及び棚卸資産の調整額 38,813千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,769,242	802,594	681,767	5,253,604	－	5,253,604
セグメント間の内部売上 高又は振替高	31,468	－	1,368	32,837	(△ 32,837)	－
計	3,800,711	802,594	683,136	5,286,442	(△ 32,837)	5,253,604
セグメント利益	417,322	75,186	120,810	613,319	(△176,758)	436,560

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 176,758千円には、セグメント間取引消去 11,905千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 223,999千円及び棚卸資産の調整額 35,334千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、当社組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「ベントナイト事業」、「アグリ事業」、「化成品事業」及び「環境事業」の4区分から「環境事業」を「ベントナイト事業」に統合・廃止して3区分に変更することと致しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。